

神奈川大学 vs 青山学院大学

5月6日(月)
11:30K.O.
三ツ沢

連勝が止まってしまった3位・神大と、五分の星取りで6位につける青学大との対戦。上位を迫るため負けられない一戦をモノにするのはどちらか。

神大は前節、東海大と対戦し、退場者を出して1-2で敗れた。全体的に見れば、持ち前のボール保持力を発揮して攻撃を組み立て、チャンスをつくり出していたものの、フィニッシュの精度を欠いて前半は無得点。逆に、29分に先制点を許してしまった。73分に一度は追いついたものの、その5分後に直接FKを決められ、それが決勝点に。DFの裏へ放り込んでくる東海大のロングボールに苦戦し、そこから攻撃のリズムをつくられただけに、「カバーリングや1対1の対応が課題」(高峯弘樹監督)。また、MF伊東純也(4年)の攻撃が抑えられたところの対応が遅れたことも課題に挙げた。連戦を考慮した選手起用もあっただけに、今節の戦いぶりが気になる。

一方の青学大は前節、関学大と対戦しスコアレスドローに終わった。しかし、全体的には押された印象もあり、苦しい試合の中で勝点1をもぎ取ったと言えるゲームでもあった。その前の試合で開幕戦以来の勝ち星を今季初の無失点で挙げており、守備に課題を持つチームとしては2試合連続無失点というのも成果の一つ。良い流れを

もって今節に臨みたいところ。守備面の粘りが見られてきたが、関学大の早い仕掛けに手を焼いたのも事実で、中盤をコンパクトに保っていかに関学大の攻撃を封じられるかが鍵。逆に、攻撃で主導権を握ればよいが、ここ2試合で1得点というのが気がかりでもある。「勝点3を取れるように、リスタートやサイド攻撃などを確認して次節に臨みたい」(宮崎純一監督)。

<出場停止>柿崎佳弘(神大)
<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

神大		青学大	
3. 高木	10. 伊東	18. 関谷	3. 早田
26. 杉村	17. 盛	16. 京谷	10. 木澤
7. 長野		8. 後藤	6. 高山
1. 松田	16. 前田	28. 伊藤	40. 高橋
5. 杉山	4. 向山	4. 中村	
15. 湯澤		22. 恵	
6. 秋山		32. 大野	

朝鮮大学校 vs 東海大学

5月6日(月)
11:30K.O.
たつのこ

またも連敗を喫ってしまった朝鮮大と、3連敗のあと2連勝でさらなる浮上を狙う東海大との対戦。苦しいリーグ序盤となっている両チームだが、朝鮮大は連敗を止めることができるか。

その朝鮮大は前節、東学大と対戦して0-2で敗れた。神大、東学大という昨季1部チームと連戦し、粘り強く相手ボールを奪いにいき攻撃につなげるという自分たちの形をある程度はつくり出しながらも、勝利につなげることはできていない。東学大戦は、球際の攻防で引けを取ることなく拮抗した戦いとなり、シュート数も互角であったが、後半になって絶好の位置で与えた直接FKを確実に決められ、さらにゴール前の混戦で技ありの追加点を奪われた。「与えてはいけないセットプレーで苦しくなった。ミスが減らさないと勝てない」(金載東監督)。攻撃がもう少し得点につながれば良いのだが…今は我慢の時だ。

対する東海大は前節、3位の神大を2-1で下した。相手にボールを持たれた時間は長かったが、5試合目ようやく失点を最少の「1」に減らし、相手DFの背後を狙う攻撃でファールを誘って直接FKでの勝ち越しに成功した。攻撃面ではまだ荒さも目立つものの、この日

はロングボールから相手のリズムを乱し、サイドを起点に仕掛けて逆に相手のサイド攻撃を封じた。押された展開の前半、先制点を奪えたことも大きかった。「失点1に抑えられたのはよかったが、失点シーンでは足が止まってしまった。もっと引き締めていきたい」(内山秀一監督)。

<出場停止>なし / 3回警告: 慎鏞紀(朝鮮大)
<昨年の対戦>前期 / 朝鮮大3-2東海大、後期 / 朝鮮大1-0東海大

朝鮮大		東海大	
2. 李永照	17. 高志煌	39. 小野	
3. 李教俊	9. 高尚人	25. 桑原	
21. 康貴成		11. 峯	34. 羽毛
1. 李在根	14. 朴利基	8. 水野	
22. 慎鏞紀	16. 韓勇俊	29. 椎橋	
12. 姜光		14. 塩田	4. 湯川
24. 鄭壯輝		5. 元田	
		9. 大村	
		2. 太田代	

* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています*

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM
Division2 2013-NO.6

編集: 五味亜矢子 印刷: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ



無傷の東国大を駒大が追う!

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 2 部リーグは、ゴールデンウィーク中の連戦となっている。今節は、前節の試合から中 1 日・中 2 日というハードな日程。このタイトなスケジュールをどう乗り切るかが大きな鍵だ。第 5 節では、ただ 1 チーム無傷の連勝を続けている東国大が拓大を破って 5 連勝。2 位の駒大は、終盤の逆転劇で東農大を下したが、それを追う神大は東海大に 1-2 で破れて 2 位と差が開き、今季初めて無失点勝利で朝鮮大を下した東学大が 4 位に浮上した。また、第 5 節では今季の 2 部リーグにおいて初めてのドローが 2 試合あった。関学大-青学大の 0-0、法大-平国大の 1-1 だ。いかに勝ち切るかが重要なのは間違いないが、今後は両者一歩も引かない試合内容も増えてくるだろう。

得点ランキング		アシストランキング	
5: 山本 大貴 (駒大)		4: 佐伯 拓磨 (東国大)	
4: 小牟田 洋佑 (駒大)		3: 高橋 明嗣 (東国大)	
3: 小玉 敏之 (東国大)		今野 順 (東農大)	
伊東 純也 (神大)		2: 全 8 名	
高木 利弥 ("		1: 全 33 名	
脇本 晃成 (東学大)			
星子 直哉 (平国大)			

とにかく、今季の 2 部リーグ前半戦の注目は、東国大の連勝がどこまで続くのか、それを何チームが追っていきけるのかに集まっている。ゴールデンウィークの連戦の勝負の行方はいかに。

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第 5 節終了時)

順位	2部	東国大	駒大	神大	東学大	関学大	青学大	東農大	拓大	東海大	平国大	法大	朝鮮大	勝数	負数	得点	失点	得失差	勝点
1	東国大		100	100	201	5/5	未定	未定	301	5/19	5/26	400	5/12	5	0	11	2	9	15
2	駒大	0●1		5/26	5/19	200	401	302	5/5	401	5/12	未定	未定	4	1	13	5	8	12
3	神大	0●1	東海大		未定	未定	5/6	301	5/19	1●2	301	5/12	201	3	2	9	6	3	9
4	東学大	1●2	朝鮮大	未定		5/25	0●1	201	5/11	201	5/5	未定	200	3	2	7	5	2	9
5	関学大	フクアリ	0●2	未定	青学大		0△0	0●3	未定	5/12	300	5/19	400	2	2	7	5	2	7
6	青学大	未定	1●4	三ツ沢	100	0△0		5/11	5/25	未定	5/19	401	1●2	2	2	7	7	0	7
7	東農大	未定	2●3	1●3	1●2	300	たつのこ		200	5/26	未定	5/5	5/19	2	3	9	8	1	6
8	拓大	1●3	萩野	青学大	味スタ西	未定	青学大	0●2		未定	2●3	201	100	2	3	6	9	-3	6
9	東海大	東海大	1●4	201	1●2	東海大	未定	東海大	未定		302	2●4	5/6	2	3	9	13	-4	6
10	平国大	朝鮮大	法大	1●3	たつのこ	0●3	青学大	未定	302	2●3		1△1	未定	1	3	7	12	-5	4
11	法大	0●4	未定	法大	未定	東海大	1●4	たつのこ	1●2	402	1△1		5/26	1	3	7	13	-6	4
12	朝鮮大	東海大	未定	1●2	0●2	0●4	201	朝鮮大	0●1	たつのこ	未定	朝鮮大		1	4	0	10	-7	3

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

成功も失敗も、自分が決める。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

RECRUIT

関東学院大学 VS 東京国際大学

5月5日(日・祝)
11:30K.O.
フクアリ

開幕2連勝のあと勝ち星のない関学大が、5連勝で首位を走る東国大と対戦する。出場停止者を抱える関学大が、現在最少失点の東国大守備陣を崩せるか。

その関学大は前節、同じく2勝2敗の青学大と対戦し、0-0のスコアレスドローに終わった。ここ3試合は無得点に終わっていることになるが、決してチャンスをつくりていないわけではない。青学大戦も前半は主導権を握っており、アグレッシブに早い仕掛けから相手DFを崩したが、最後の決定力を欠き、石村大監督も「取れるチャンスがあっただけに勝点2を失った感もある」とコメントを残した。一方で、後半には青学大の細かなパス回しからゴール前に侵入を許す場面が増えたものの、守備面ではなんとか凌いで無失点に抑えた。「内容は悪くないので勝ちにこだわっていききたい」(石村監督)。FW萱沼優聖(2年)を出場停止で欠くのは痛いですが、チャンスを生かすこと、そしてカウンター対策が鍵だ。

対する東国大は、初の関東リーグ挑戦で開幕から5連勝と絶好調だ。前節は拓大と対戦し、先制しながら初めて追いつかれるという展開になったが、すぐに勝ち越し点を決めて突き放すなど勝負どころを見極めた試合展開を見せている。前半は拓大にボールを持たれるシーン

が多かったが、しっかりとブロックをつくってボールの前に運ばせず、その中で16分、CKから先制点。後半開始10分弱で同点弾を浴びたが、残り15分を切ってから2点を奪った。「相手の迫力があつたがそれに飲まれず、追加点が取れてよかった。2点目が勝負を分けた」(前田秀樹監督)。1点勝負でなく粘り強さも出てきた東国大の連勝はどこまで続くか。

<出場停止>萱沼優聖(関学大)

<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

関学大	東国大
32. 吉田	11. 高橋
9. 富樫	2. 伊東
4. 久保	34. 鈴木
23. 長谷川	10. 若井
1. 守山	23. 赤崎
7. 太田	15. 加藤
3. 土館	26. 佐伯
10. 橋村	5. 川島
8. 山本	17. 小玉
6. 木村	6. 鹿糠
	21. 今野

法政大学 VS 東京農業大学

5月5日(日・祝)
11:30K.O.
たつこのこ

勝てる試合を引き分けて勝点2を失った感のある法大と、駒大に逆転負けを喫してしまった東農大との対戦。どちらが先手必勝の試合展開に持ち込めるかどうか。

最下位に転落して迎えた前節、平国大と1-1で引き分けた法大。今季初スタメンのFW上星脩大(4年)が試合開始7分で幸先良く先制点を奪ったものの、その後は追加点を奪うことができずじまい。ボランチにMF森保翔平(4年)が入ってセカンドボールの支配力が向上し、攻撃の連続性は見られてきたが、相手GKの好守もあって決め切れなかった。終盤、83分に与えたFKを直接決められ、被シュート2本で1点を失うという何とも惜しい勝点を失ったと言わざるを得ないが、「勝負の難しさの部分はもっと磨いて勝ち切らないと。1点の重みを大事にしていきたい」(大石和孝監督)。前線からプレスをかける守備の意識も見られてきており、守備と攻撃のバランスも徐々に上げていきたい。

対する東農大は前節、2連勝の勢いをもち込み駒大に対して先制点を奪ったが、最後は2-3と競り負けてしまった。アグレッシブな立ち上がりでリズムをつかみ、14分に先制点を奪ったところまではよかったが、すぐ後の19分にセットプレーから失点。後半はロングボー

ル主体の攻撃に押し込まれながらも、少ないチャンスを生かして77分に再びリードを奪ったが、83分、86分とCK2本で逆転を許した。「駒大は粘り強く、しっかり得点に示してくる。それに対応できなかった」(木村俊夫コーチ)。最後は伝統の底力を見せられてしまったが、駒大から2度のリードを奪ったことは成果でもある。悲観せず連戦に挑みたい。

<出場停止>なし

<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

法大	東農大
23. 三田	23. 徳田
3. 岡	14. 石川
27. 田代	15. 小田原
10. 上星	10. 浜田
17. 森保	18. 今野
21. 田村	9. 相川
28. 西室	6. 中垣内
13. 木村	11. 清水
24. 白石	5. 櫻岡
8. 大野	11. 井上
	27. 加藤
	30. 矢口

駒澤大学 VS 拓殖大学

5月5日(日・祝)
11:30K.O.
荻野

初黒星のあと2連勝で首位・東国大を追う駒大と、その東国大に敗れ2連敗を喫してしまった拓大との対戦。首位に離されたくない駒大は3連勝を飾れるか。

駒大は前節、東農大との接戦を終盤の逆転劇で制し、3-2で競り勝った。立ち上がりから連勝の勢いでアグレッシブに仕掛けてくる東農大の攻撃を受けてしまい、14分に失点。19分にセットプレーで同点とし、後半はロングボールで仕掛けてサイドでタメをつくり、再三チャンスをつくった。そんな中、77分に勝ち越しを許して苦しい展開となったが、83分、86分にCKから得点を奪って粘り勝ち。結果的に3点ともセットプレーからの得点であり、駒大の武器を見せ付けた試合でもあったが、「東農大の動き出しについていけなかった。暑さもあつたが、集中力を上げていきたい。諦めなかったのが勝因」(秋田浩一監督)。勝負強さが出てきたのは光明か。

一方の拓大は、無敗で勢いに乗る東国大と対戦し、1-3で敗れてしまった。前線の選手頼みの攻撃に終始してしまった前の試合の反省もあり、メンバーを若干入れ替えて臨んだが、東国大の厚いブロックを崩し切れずになかなか相手ゴール前に侵入できない展開が続いた。逆にカウンター攻撃を許す場面もあり、16分にセットプ

レーから失点。57分に1点を返してからリズムをつかみ始めたが、追加点には至らず。「追いついてから追加点のチャンスがあつたが、決定力の差が出てしまった」(玉井朗監督)。終盤に勝ち越しを許し息切れしてしまつたが、駒大の迫力ある攻撃に耐えつつ、拓大らしく攻撃を繰り返して勝機を見出したい。

<出場停止>なし

<昨年の対戦>前期/駒大1-3拓大、後期/駒大2-0拓大

駒大	拓大
3. 田中	2. 西本
32. 金	20. 片
5. 伊藤	22. 河野
7. 碓井	25. 紙谷
12. 菊池	8. 菅能
1. 大石	1. 大坪
10. 山本	6. 小野
6. 若山	11. 内野
4. 平尾	4. 菊野
17. 平野	15. 長沢
16. 柳川	18. 小島

東京学芸大学 VS 平成国際大学

5月5日(日・祝)
13:50K.O.
たつこのこ

今季初めて無失点での勝利を飾った東学大と、試合終盤に追いつきドローに持ち込んだ平国大との対戦。初顔合わせの対戦はいかに。

2年ぶりの2部リーグ、第4節で早くも2敗目を喫してしまった東学大だったが、前節は朝鮮大に2-0で勝利した。持ち前のパスワークから早い時間帯でチャンスをつくりながら、得点を決め切れずに苦しい展開となる試合が続いてきた。しかし朝鮮大戦は、前半から球際の激しい攻防となり、一進一退の時間帯を耐えて後半の勝負につなげた。西園聡史監督が「守備の3ラインをコンパクトにしよう」と試合に臨んだ。後半は特に守備の課題が改善できた」と話すように、相手にボールを奪われながらもDFラインの前でしっかりと対応し無失点。攻撃ではFKとFW山崎直之(4年)の個人技で2得点したが、「深く攻め過ぎて詰まってしまうことがあつた」(西園監督)と反省も。今節も攻守のバランスに注意したい。

一方の平国大は前節、法大と1-1で引き分けた。連敗してしまったこともあり、フレッシュな選手を複数起用して打開を図ったが、ゲームは全体的に法大に押される展開に。試合開始7分で早々と先制点を許し、その後は反撃の糸口こそなかなか見出せなかったものの、粘り

強い守備と今季初出場のGK馬屋原宏樹(2年)の好守で追加点を防いだことが貴重な勝点1につながった。83分にカウンターから奪ったFKをDF須藤貴郁(4年)が決め、「キャプテンの須藤の想いがチームを救った」(西川誠太監督)。攻撃の組み立てについては「まだフィードリングが合わないしバランスが悪い」と西川監督。昨季のように徐々に調子を上げていけるか。

<出場停止>なし

<昨年の対戦>リーグ戦での対戦はなし

東学大	平国大
5. 廣木	16. 増田
18. 久保	11. 千葉
4. 脇本	37. 小松崎
7. 山崎	5. 鎌田
30. 平田	42. 四辻
12. 須賀	18. 星子
10. 茶島	33. 福嶋
2. 大里	9. 岡
8. 佐々木	2. 須藤
28. 吉田	43. 赤澤
	44. 深井